

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2024 年度(令和 6 年度)第 7 回理事会議事録

1. 開催日時 2025 年 3 月 28 日 9:30 -12:30

2. 開催場所 Zoom によるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 15 名 (定足数 11 名 会議成立)

4. 議長 理事 ウォリス サイモン

5. 出席役員

理事 ウォリス サイモン

理事 小口 高

理事 富士原(阿部) なつ江

理事 河宮 未知生

理事 沖 大幹

理事 成瀬 元

理事 道林 克禎

理事 和田 浩二

理事 大谷 栄治

理事 小口 千明

理事 掛川 武

理事 田近 英一

理事 長谷川 直子

理事 堀 利栄

理事 村山 泰啓

監事 春山 成子

監事 松本 淳

6. オブザーバー

大気水圏科学セクションバイスプレジデント 大手 信人

地球人間圏科学セクションプレジデント 須貝 俊彦

地球人間圏科学セクション幹事 松多 信尚

地球人間圏科学セクション幹事 南雲直子
地球生命科学セクションセクションプレジデント 大河内 直彦
地球生命科学セクションバイスプレジデント 黒柳 あずみ
情報システム委員会委員長 興野 純
ダイバーシティ推進委員会委員長 若狭 幸
環境災害対応委員会委員長 宮地 良典
学協会長会議議長 鷺谷 威
事務局長 末廣 潔

議事内容

2. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

・定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2 号議案 2025 年度事業計画書および収支予算書承認の件

・2025 年度事業計画書および収支予算書を審議した。2025 年度事業計画書および収支予算書を承認した。

第 3 号議案 JpGU フェロー承認の件

・審査委員会からの推薦に基づき、7 名の受賞候補者を審議した。JpGU フェローとして承認した。

第 4 号議案 地球惑星科学振興西田賞受賞者承認の件

・審査委員会からの推薦に基づき、10 名の受賞候補者を審議した。審議の結果、推薦の通りに受賞者を承認した。

第 5 号議案 国際貢献賞受賞者承認の件

・審査委員会からの推薦に基づき、1 名の受賞候補者を審議した。

第 6 号議案 地球惑星科学に関わる American Geophysical Union との連携推進のための特定費用準備資金取扱規則の改訂

- ・地球惑星科学に関わる American Geophysical Union との連携推進のための特定費用準備資金取扱規則の改訂を審議した。これを承認した。

第 7 号議案 会員システム開発費用準備資金取扱規則の改訂

- ・会員システム開発費用準備資金取扱規則の改訂を審議した。これを承認した。

第 8 号議案 その他

- ・道林理事より緊急動議があり、International Joint Workshop on Slow-to-Fast Earthquakes 2025 への協賛について審議した。これを承認した。

3. 報告事項

1. ウォリス サイモン代表理事 職務報告

- ・3月26日、AGU との会合を開催し、Agreement について検討した。参加者増のベースについて、Plenary Talks の講演者について、等すり合わせを行った。
- ・Global Geoscience society のタスクチームの活動の紹介があった。4月22日にEarthDay の声明を発信する予定である。
- ・著作権協会の活動について資料を得て、内容を調査している。また、地球化学会から、著作権規則を作成するにあたって JpGU の規則を参考にしたいという打診を受けた旨、報告があった。

2. 小口 高理事 職務報告

- ・ジョイントミーティングでのジョイントセッション準備について報告があった。

2026 年のセッションに関しては、合同プログラム委員会が立ち上がってからそこで検討するのがよいということとなった。

3. 阿部 なつ江理事 職務報告

○以下の報告があった。

- ・2026 年高校生による英語のセッションの実現性について検討している。
- ・Global Geoscience society の DEI 関連タスクチームの活動報告があった。各学協会の行動規範をまとめたものを作成している。完成時には JpGU のホームページでも紹介したい。

4. 河宮 未知生理事 職務報告

- ・3月26日、AGU との会合の内容について報告があった。財務モデルやスポンサーについて打ち合わせを行った。算定基準のベースラインは今後検討することとなっ

た。4月17日にむけて具体化する。JpGUのスポンサーに関する体制についても今後より固めていく。

5. 原田 尚美理事 職務報告

- ・事務局より代理で活動報告があった。

6. 高橋 幸弘理事 職務報告

- ・活動報告を省略した。

7. 道林 克禎理事（総務担当）職務報告

- ・後援・協賛したイベントについて報告があった。

8. 成瀬 元理事（財務担当）職務報告

- ・財務関連の報告があった。前回理事会で検討したリーダーシップの予算については、既存の枠組みを増額することで対応しているという説明があった。

9. 和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

○大会準備関連の報告があった。

- ・発表者の参加登録締め切りは4月17日であるという説明と注意喚起があった。また、学生賞審査員登録が参加登録時に可能となっているという説明と協力依頼があった。
- ・現時点での大会参加登録数の紹介があった。
- ・投稿・採択状況の報告があった。本日、コマ割りの公開を予定している。
- ・ハイブリッド開催方法の詳細な説明があった。持ち込みPCでの発表が可能である点、口頭セッション内のポスターフラッシュトークは休止する点の説明があった。
- ・オンラインポスター、現地ポスターについて説明があった。
- ・大会行動規範の掲載について説明があった。
- ・展示について会場レイアウトの説明があり、順調に出展予約を受け付けているという報告があった。
- ・OPSAや高校生ポスター発表の審査への協力依頼があった。
- ・ポケットWiFiの貸し出しサービスの紹介があった。今回は内部のサービスでなく、APAホテルに設置されたサービスを用いる。
- ・イベントで申請がまだのものは速やかに申請してほしいという要請があった。
- ・記念撮影スポットや看板の検討準備状況の報告があった。
- ・今後のスケジュール案について説明があった。

- ・理事より、ジョイントセッションに対して参加登録料1名分を無料にする施策について、コンビーナーへの直接の周知が足りなかったというコメントがあった。

10. 沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

○グローバル関連の報告があった。

- ・2026年 JointMeeting に向け 2025 年大会でも企画を検討し、International Mixer Luncheon の準備を進めている。また、Joint セッションについてのインセンティブを設けた。

- ・リーダーシップとも協力して 2026Joint Meeting に関して AGU と交渉を続けている。

- ・海外での JpGU の宣伝について力を入れている。2025 年は TCGU へ参加し宣伝する。

- ・発展途上国の参加者への対応について検討している。

- ・参加者への援助について検討した。和田委員長より、現状の顕彰的な側面の強い旅費助成を超えて途上国への援助を行うのであれば、顕彰委員会以外の所掌となるというコメントがあった。これに対し沖委員長より、発展途上国であれば全員に援助するわけではなく顕彰的な側面は残るという説明があった。引き続き、大会運営委員会とグローバル戦略委員会で検討することとした。

11. 広報普及委員会活動報告（田近理事）

○広報関連の活動報告があった。

■JGL 編集小委員会活動

- ・JGL Vol.21, No.1 を2月に発行した。次号は大会プログラム号でゴールデンウィーク明けに発行し、会場でも印刷したものを配布予定である。

■広報活動小委員会

- ・メールニュースの定期配信を行った。

- ・大会ハイライトセッションをほぼ確定した。

- ・大会で中高生を含む一般向け広報ノベルティとして、1. 一家に一枚シリーズのポスター、2. クリアファイル、3. JGL 伊与原さんのインタビュー記事部分の印刷を配布することを予定している。

■普及活動小委員会

- ・高校生セッションは申込締切後に対応開始する。NASA/JAXA ハイパーウォールは、NASA が来られないので、JAXA だけで開催予定である。内容は高校生講演のみ、Vtuber の方に発信いただく計画である。

12. 環境災害対応委員会報告（小口 千明理事）

○環境災害対応関連の報告があった。

- ・防災学術連携体との連携を進めている。防災庁設置に向けてのシンポジウムに参加した。

13. ダイバーシティ推進委員会活動報告（堀利栄理事）

○ダイバーシティ推進関連の報告があった。

- ・大会時保育について準備している。今回は学童施設も準備している。
- ・大会時のキャリアイベントを準備している。また、Career Explorer のロゴシールを準備している。今後、希望者が名札に印刷できるようになるとよいというコメントがあった。

14. 教育検討委員会活動報告（宮嶋敏理事）

○事務局の代理で報告があった。

- ・理数系学会連絡協議会の活動報告があった。2025 年度に JpGU が幹事学会となる。教育検討委員会の市川副委員長が協議会の会長を務めることとなった。
- ・教育国際対応委員会に大塚英人委員（聖光学院）が加入した。

15. 情報システム委員会活動報告（村山担当理事）

- ・会員システム改修の準備状況について詳細に説明した。現在、大枠の設計が決まった段階であるという説明があった。

・自動翻訳、委員会議事録の統合などについて質問があった。会員管理システム上に必要な機能か否かという観点でもしていく必要があるという説明があった。オンヤクなど、他のツールやサービスを用いて補完できる部分もあるというコメントがあった。

- ・この後、業者の選定に進む。

16. ジャーナル関連活動報告（掛川理事）

- ・ジャーナル関連の報告があった。科研費採択の内諾を得た。

編集長会議において、川幡総編集長が継続することが決定したという報告があった。他、投稿・出版状況の報告があった。

17. 顕彰委員会活動報告（道林理事）

- ・顕彰関連の報告があった。審議事項の承認に基づき、本人への通知、式典の準備を進める。受賞者の紹介ページに、本人の業績が掲載されたページへのリンクを掲載する。ORCID が適しているというコメントがあった。
- ・学生旅費支援の審査を進めている。
- ・5月28日（水）に表彰式の開催を準備している。

18.固体地球科学セッション報告

- ・事務局の代読で報告があった。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後12時30分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

2025 年 3 月 28 日

出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	高	印
出席理事	富士原（阿部）	なつ江	印
出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	沖	大幹	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	和田	浩二	印
出席理事	大谷	栄治	印

出席理事	小口	千明	印
出席理事	掛川	武	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	長谷川	直子	印
出席理事	堀	利栄	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席監事	春山	成子	印
出席監事	松本	淳	印